

第8学年「英語科」学習指導案




1 単元名

Unit 5 「Universal Design」 “NEW HORIZON English Course 2”

2 単元の目標

- (1) ある条件で何をするかを述べることができる。自分の考えとその理由を述べることができる。
いつ何をしたかを述べることができる。
- (2) 身近な話題について自分の意見を述べ、その理由を述べることができる。

3 単元計画

時	目 標	学習内容・学習活動	ICT
1	商品のカタログを読んで、興味がある場合はどのようにすればよいかを理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞 if の表現 商品広告を読み理解する：ワークシートを使用し、生徒相互によるアクティビティを行う 	◎タブレット 指導者1台 デジタル 教科書 
2	商品のカタログを読んで、興味がある場合はどのようにすればよいかを理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞 that の表現 ユニバーサルデザインについて理解する 	
3 時		<ul style="list-style-type: none"> 接続詞 if, that を用いて意見を述べる、質問する、答える：ワークシートを使用し、生徒相互によるアクティビティを行う 	
4	「車いす体験」の感想文を読んで、体験をとおして感じたことについて理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞 when の表現 体験学習等について質問する、答える：ワークシートを使用し、生徒相互によるアクティビティを行う 	
5			
6	ユニバーサルデザインについて書かれた英文を読んで、話者の主張とその理由を理解し、自分の考えを表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞 because の表現 バリアフリーについての意見とその理由を述べる：タブレットを使用しながら自分の考えを伝え合う 自分の考えを書く 	◎タブレット ・プレゼンソフト 
7			

4 「小中一貫教育」を通して、具体化する視点

(1) 指導内容の「系統性」

小学部では、英語を日本語に訳すのではなく、教師が JTE や ALT と共に英語でのやりとりを実際に見せ、児童に音声で理解させていく。そのため、授業において、明確に「場面（状況）設定」を行うことが大事である。また、中学校でも学習内容の中でも様々な「場面」が設定されており、小学校で学習した表現が繰り返し使われている。そして、小学校で音声中心に学習した表現を、中学校では文法的な側面から文字を使って学習し、表現の理解をより深める。そしてさらに学年に応じた表現を付け加えることによってより発展的で実用的な表現にしていく。

(2) 指導法の「連続性」

小学校外国語活動で使用されている言語材料が、どのように中学校の文法項目と関連するのか明確な系統表はない。そのため、本学園英語部会においては、以下の指導法を共有することで、小学部と中学

部との学びの連続性を図っている。

- ① クラスルームイングリッシュの徹底：英語によるあいさつ、指示、ほめ言葉など
- ② スピーチの工夫：ノンバーバルコミュニケーション（表情・視線・ジェスチャーなど）の指導、相互評価・自己評価の実施
- ③ ICTの活用：「ロイロノート」のプレゼンテーション機能を活用し、表現したい概念（考えや気持ち）を可視化し、英語で伝え合う言語活動の補助資料とする。

5 本時

(1) 本時のねらい

- ① 例文を参考にしながら接続詞 if, that を使った英文を作り、自分の考えを表現することが出来る。
- ② 級友の意見を聞き取り、理解することが出来る。
- ③ 教科書本文の内容を理解しながら、正しく読むことが出来る。
- ④ 1-minute-chatting では、積極的にコミュニケーションをとろうとする。

(2) ICT 活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い直し
学習活動	既習知識を活用する	自分の考えを形成する	互いの考えを比較する	問い直す
タブレット				

(3) 展開

時	学習活動	・指導のポイント ★評価
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ Greeting ・ 1-minute-chatting ・ Review 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジャンルの中で「何が好きか」既習事項を使って考えを表現する、相手の考えを聞き取る ★積極的に対話しようとしている ・ デジタル教科書を使って前時の内容を確認する
15	<ul style="list-style-type: none"> ・ if 節の疑問文とその答え方の意味・用法を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天気の時は何をするか、質問と応答をさせる ・ 8つのうち1つに決めさせる
15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書本文 Unit5-2 の音読発表を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタル教科書の音声を聞かせる ・ 内容を理解して音読できているか確認する
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒相互による質問形式のアクティビティ ・ Reflection ・ Greeting 	<ul style="list-style-type: none"> ★Do you think that~? と質問する、答えることができる：＜問い直し＞ ★接続詞 if, that の文の意味・用法に関する知識を身につけている